

イタリア人の仕事及び居住地選択志向

吉 村 英 俊

I はじめに

創造的人材を吸引し、定住させるためには、彼ら／彼女らの仕事及び居住地選択に関する志向を知る必要がある。アメリカ合衆国の都市経済学者である R. Florida は、創造的人材は居住地を選択するとき、企業の規模や将来性、職務の内容といった仕事よりも、寛容性と多様性に富んだ地域を優先すると主張している¹⁾。

前章では、わが国の大都市を代表して7つの都市を選び、そこに住む技術系会社員を対象に調査を行った。そこで本章では、海外事例として、EUの主要国の一つであり、創造的産業として顕著なデザイン分野で世界をリードし、さらに豊かな食生活と有り余る歴史的財産を有するイタリアに注目し、彼らの仕事及び居住地に係わる志向を調査することとした。

なお、調査は2008年9月22日～25日の間にイタリアを訪問した折に、筆者のローマ県在住の友人及び訪問先の担当者を通じて行われた。

II 質問内容

Q1. Which is more important, job/company or living-place?

- 1) Job/company is absolutely more important than living-place
- 2) Job/company is a little bit more important than living-place
- 3) Both is equally important
- 4) Living-place is absolutely more important than job/company
- 5) Living-place is a little bit more important than job/company

Q2. Which is the most important when you choose a job/company? (up to three)

- 1) Company image
- 2) The future of the company; stability, growth and so on
- 3) Type of industries, for instance semiconductor, environment, energy and so on
- 4) Contents of the job, for instance a job which you are interested in
- 5) Salary
- 6) Working conditions, for instance welfare program, paid holiday, overtime work and so on
- 7) Location 1: the area with a cluster of similar industries
- 8) Location 2: vibrant urban area
- 9) Location 3: beautiful environment
- 10) Location 4: your hometown
- 11) Others

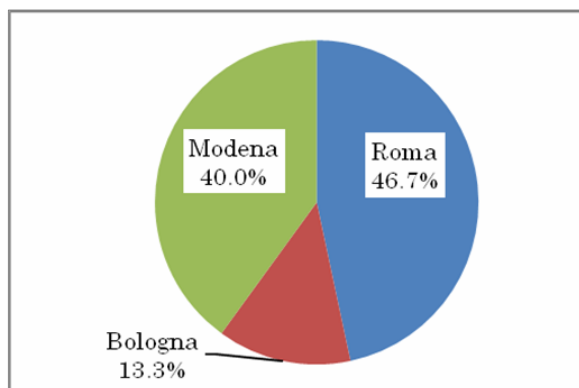
Q3. Which is the most important when you choose a residence? (up to five)

- 1) Image: you can make a boast of your city to your friends
- 2) Liveliness: lots of stylish shops, restaurants and so on
- 3) Amusements: lots of music-concerts and sport-events, full night life
- 4) Convenience: enough supermarkets and banks, full public transportation systems
- 5) Infrastructure: full water-works, sewage, waste-treatment and so on
- 6) Cleanness: full maintenance of parks, roads and so on
- 7) Safety: few crime, disaster and traffic-accidents
- 8) Public services: clinics, hospitals, nursing homes and so on
- 9) Residence: you can own or rent it with ease
- 10) Foods: availability, variety, quality
- 11) Education: high education level, no bullying and violence
- 12) Learning opportunities: lots of libraries, museums and so on
- 13) History: lots of landmark architectures
- 14) Tourist-attractions and resorts
- 15) Beautiful Environment
- 16) Good administrative services by means of local governments
- 17) Low living-cost
- 18) Others

Ⅲ 回答者の属性

1. 回答者の居住地（県別）

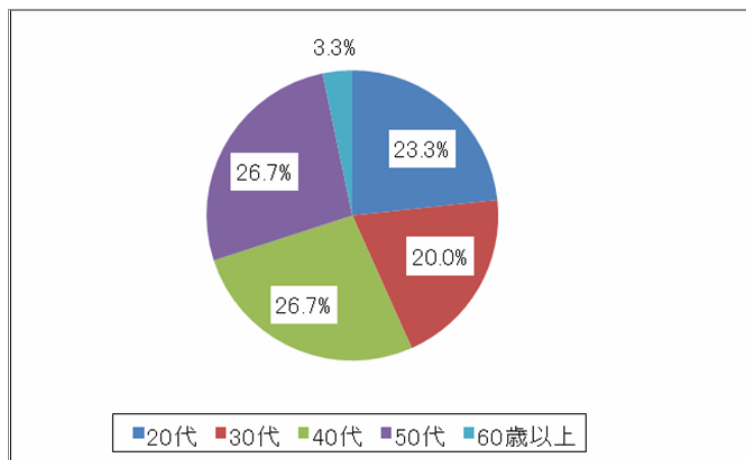
県別 ②にみれば、ローマ県が多く、ボローニャ県が少ないが、州の単位でみるならば、ローマ県を含むラツィオ州と、ボローニャ県とモデナ県を含むエミリオ・ロマーニャ州の割合はほぼ半数ずつになる。なお、ボローニャ県とモデナ県は隣接し、県庁所在都市のボローニャ市とモデナ市は列車で約 20 分の距離にある。



	度数	%
Roma	14	46.7
Bologna	4	13.3
Modena	12	40.0
合計	30	100.0

2. 年代

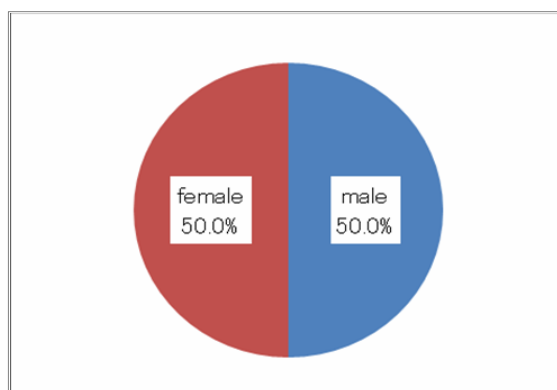
10 歳刻みではあるが、20 代から 50 代までほぼ均等に分布（回答）している。



	度数	%
20代	7	23.3
30代	6	20.0
40代	8	26.7
50代	8	26.7
60歳以上	1	3.3
合計	30	100.0

3. 性別

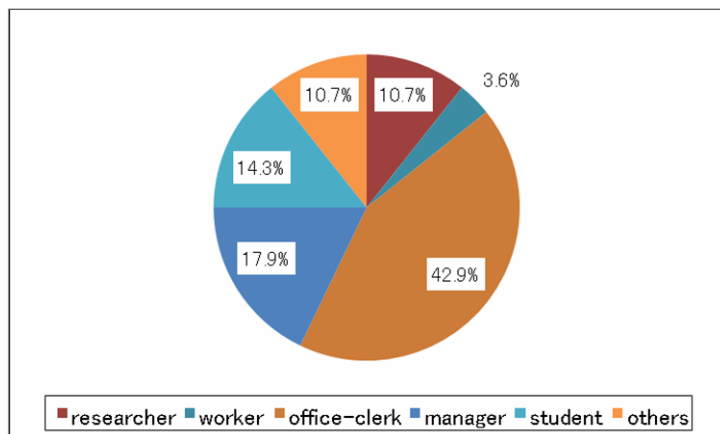
男女は同数である。



	度数	%
male	15	50.0
female	15	50.0
合計	30	100.0

4. 職種

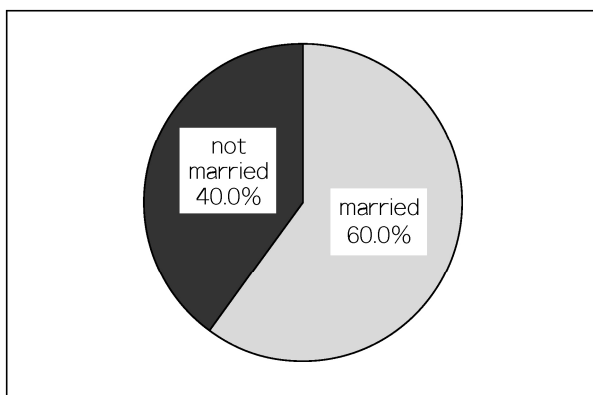
モデナ市職員と思われる事務職（office-clerk）が多い（約 43%）。



	度数	%
researcher	3	10.7
worker	1	3.6
office-clerk	12	42.9
manager	5	17.9
student	4	14.3
others	3	10.7
合計	28	100

5. 既婚／未婚

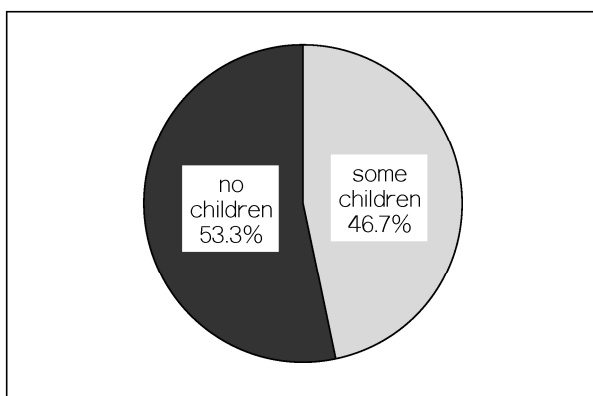
既婚者と未婚者の比率は 6 : 4 である。



	度数	%
married	18	60.0
not married	12	40.0
合計	30	100.0

6. 子供の有無

子供がない人がやや多いものの、ほぼ同数である。



	度数	%
some children	14	46.7
no children	16	53.3
合計	30	100.0

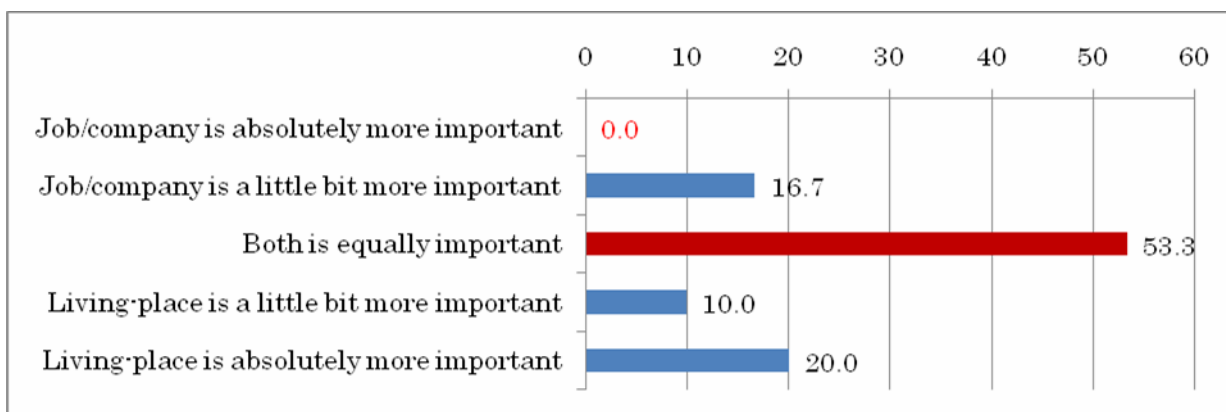
IV 調査の結果

1. Which is more important, job/company or living-place?

仕事も居住地も両方重要であると回答した人が過半数（約 53%）を占有し、さらに仕事と居住地のいずれかがやや重要であると回答した人を含めるならば、その数は 80%に上り、総じて両方重要であると考えていることが分かる。なお、仕事の方が絶対的に重要であると回答した人はおらず（ゼロ）、居住地選択の意向の方がやや強いといえる。

属性別に見てみるならば、「性別」では、男性よりも女性の方が、両方重要であると回答した割合が多い（60%）。「年代別」では、子育てで忙しいと思われる 30 代において、居住地を選択する割合が高くなっている。また、子育てが一段落した 50 代において、仕事を選択する割合が高くなっている。「既婚者と未婚者」では差異はほとんどない。「子供の有無」で見ると、子供がいない人（ここでは多くが学生であり、20 代の若年者）の方が居住地を重視しており、若い故に、自分自身の生活を大切にしたい表れではないかと考えられる。

	度数	%
Job/company is absolutely more important	0	0.0
Job/company is a little bit more important	5	16.7
Both is equally important	16	53.3
Living-place is a little bit more important	3	10.0
Living-place is absolutely more important	6	20.0
合計	30	100.0



2. Which is the most important when you choose a job/company?

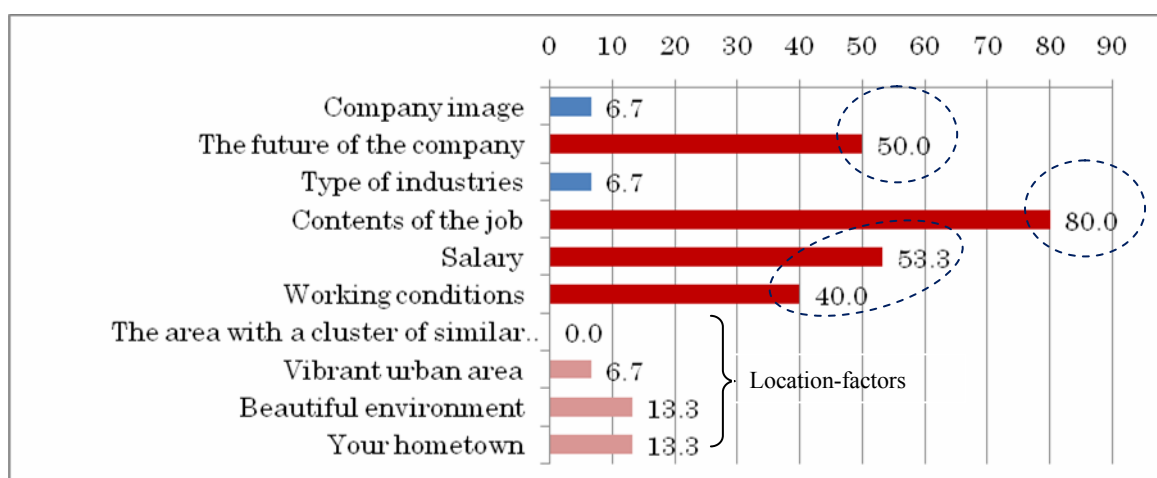
仕事を選択するときに重要視する要素は大きく3つに分けることができる。第一位が、自分がしたい仕事ができるかどうかといった「仕事の内容」であり、第二位が、給与や福利厚生といった「労働条件」、そして第三位が、「会社の将来性」である。

当初、R. Floridaによるアメリカ合衆国の調査において、仕事や企業そのものよりも居住場所が重要であるということが判明していることから、同じ西洋人であるイタリアにおいても「こんな街に住んで仕事がしたい」といった意向が強く、「企業の立地場所」を重視するのではないかと予測していたが、少なくとも今回調査したイタリア人においては、そういった傾向は見られなかった。

傾向を属性別に見てみると、性別や結婚の有無において特異な傾向は見られなかったが、年代において、各世代のおかれている状況を反映していることが分かった。つまり、20代の若年者においては経済的な要素である「給料」：「現在」を重視し、30代・40代の子育て世代においては「会社の安定性・将来性」：「未来」を重視している。

	度数	%	摘要
Company image	2	6.7	
The future of the company	15	50.0	stability, growth and so on
Type of industries	2	6.7	semiconductor, environment, energy and so on
Contents of the job	24	80.0	a job which you are interested in
Salary	16	53.3	
Working conditions	12	40.0	welfare program, paid holiday, overtime work and so on
The area with a cluster of similar industries	0	0.0	} Location-factors
Vibrant urban area	2	6.7	
Beautiful environment	4	13.3	
Your hometown	4	13.3	

Note: multi answer, up to three



3. Which is the most important when you choose a residence?

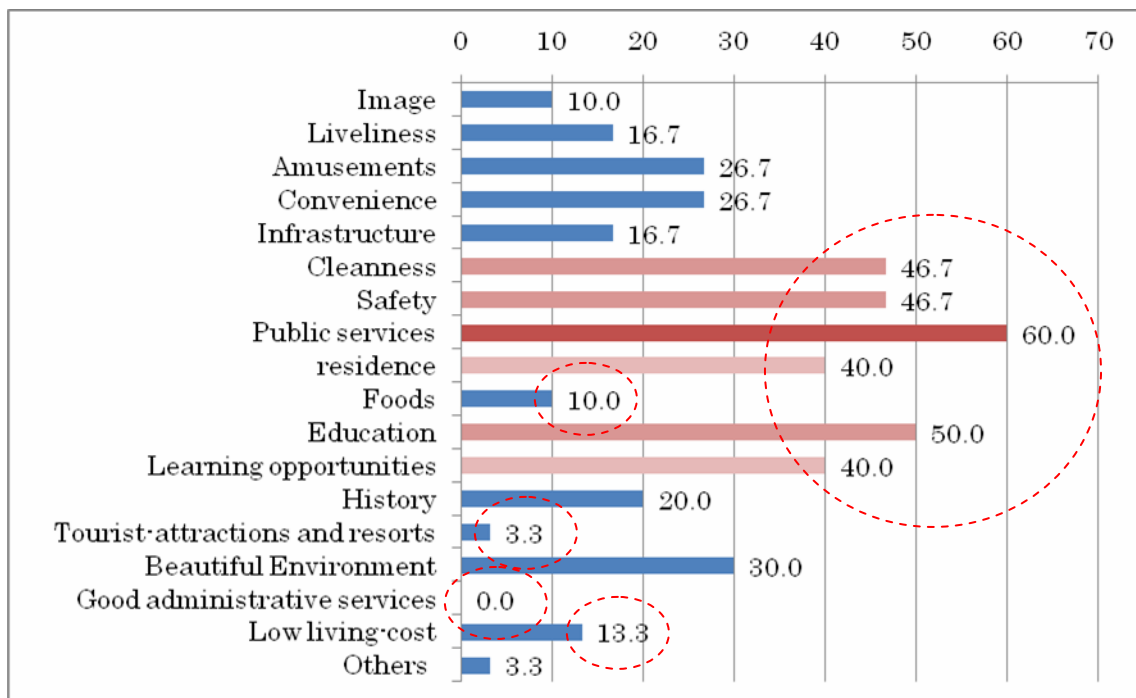
イタリア人においても、安全・安心・居住・教育・自然といった堅実に暮らせる環境を必要としていることが分かった。この志向はわが国の大都市居住者のものと同様³⁾であり、洋の東西を問わないものと考えられる。

特徴的な傾向としては、地方行政機関によるサービスを誰も期待していないことであり、さらに仕事の選択において給料といった経済的な要素を重視している反面、生活コストへの関心が低いことである。また食べ物や観光地を重要視しておらず、これはすでに十分に満たされた状態にあることの表れではないかと考えられる。

属性別に見てみると、性別や職業において特別な傾向は見られないが、若年者、未婚者、子供がいない人、つまり、若くて自由度が高い人において、街の賑わいや喧騒を好み、都会的な生活を志向していることが分かる。

	度数	%	摘要
Image	3	10.0	you can make a boast of your city to your friends
Liveliness	5	16.7	lots of stylish shops, restaurants and so on
Amusements	8	26.7	lots of music-concerts and sport-events, full night life
Convenience	8	26.7	enough supermarkets and banks, full public transportation systems
Infrastructure	5	16.7	full water-works, sewage, waste-treatment and so on
Cleanness	14	46.7	full maintenance of parks, roads and so on
Safety	14	46.7	few crime, disaster and traffic-accidents
Public services	18	60.0	clinics, hospitals, nursing homes and so on
Residence	12	40.0	you can own or rent it with ease
Foods	3	10.0	availability, variety, quality
Education	15	50.0	high education level, no bullying and violence
Learning opportunities	12	40.0	lots of libraries, museums and so on
History	6	20.0	lots of landmark architectures
Tourist-attractions and resorts	1	3.3	
Beautiful Environment	9	30.0	
Good administrative services	0	0.0	by means of local governments
Low living-cost	4	13.3	
Others	1	3.3	

Note: multi answer, up to five



V 総括

イタリア人の仕事と居住地選択について総括すると、「仕事も居住地も両方重要である」「両方がほどほどに満たされなければならない」という結論に行きつく。仕事については、「仕事の内容」「労働条件」「会社の将来性」を重要視しており、居住地については、「安全・安心・居住・教育・自然」といった堅実に生活が営める環境を重要視していることが分かった。また、サンプル数が少ないため、断定することはできないが、属性別にみた結果もある程度予想され得る結果であった。

これらの結果は、前章のわが国の大都市居住者の結果と同様である一方、R. Florida の主張とは異なる。個性を重んじ、群れをなそうとしない、一見、わが国とは異質と考えられるイタリア人の志向がわが国と近く、逆に同じ西洋人でありながら、アメリカ合衆国の人々の志向と異なることは非常に興味深い。なぜ、そのような志向をするのか、イタリアだけでなく、他の EU 諸国の人々も同じなのか（アメリカ合衆国が特異なのか）、さらに探究の余地がある。

〔注〕

- 1) R. Florida, “Who’s Your City”, Basic Books, 2008 など
- 2) イタリアの地域は、「州」「県」「市」より構成される。例えば、ローマの西方に位置し、地中海に面するアンツィオは、ラツィオ州ローマ県アンツィオ市となる。なお、今回の調査対象である Roma, Bologna, Modena はそれぞれが所属する県の県庁所在地である。
- 3) 吉村英俊、「働き方とライフスタイル」『知的創造都市 “Creative City” の形成・促進に関する研究』北九州市立大学都市政策研究所産業経済プロジェクト、2008